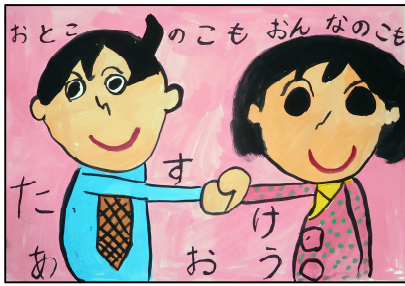


「男女でつくる元気な和歌山」ポスターコンクール 優秀賞作品

☆ 小学生低学年の部



ほりえ かの 堀江 花姫 さん

(有田市立保田小学校1年)

男の子も女の子もえがおで手をつないで、がんばりたいのでかきました。



ぬのめ 布目 ゆず さん

(和歌山大学教育学部附属小学校1年)

かぞくみんなでかじしたら、おうちがすぐにかたづくよ。



しま たいげん 嶋 泰源 さん

(和歌山市立名草小学校2年)

弟(5才)と妹(2才)を描きました。妹も弟も自分の意見をはっきりとやりたい事を言います。ほくも「こうしょう(弟) やふじえ(妹) みたいに大人になってもやりたいことを言ったりすることができる時代にしていかなあかんのやな」やりたいことがあっても「女の子がおおいからやめとこう」とかじゃなくて、「ほくもやりたい! やってみたい!」ときちんと言えるような時代になるといいな。ほくの見本は弟や妹やな。紙の上に飛こうきやちようちよ描いたのは、気持ちがどんどん広がって、世界が広がっていくといいなという思いもこめました。

☆ 小学生高学年の部



つばたに りな 薦谷 理愛 さん

(和歌山大学教育学部附属小学校5年)

男だから、女だから、という理由であきらめないといけない時代を切り開き、性別を超えて「自分だから出来る」と何にでもチャレンジできる世界になればと思い、そんな明るい未来へと続く道をこの絵で表現してみました。



いわき そうのすけ 井脇 奏之介 さん

(和歌山市立安原小学校5年)

全力で走っていますよ。仲良くしましょうね。



こぼら みお 小原 海音 さん

(和歌山市立川永小学校6年)

“自分らしくわたし色、うそのない自分というものを表現できる世の中にしたいという思いを明るくたのしいが伝わるよう、描いてみました。

☆ 中学生の部



ふかわ いろは 布川 彩葉 さん

(和歌山市立紀伊中学校2年)

比べて相手よりも劣っていると判断することは人を傷つけることです。性別、髪の色、肌の色、性格も全部個性です。比べることよりも相手のことを受け入れて理解しあえる社会であってほしいと思います。



ひらい みいな 平井 美衣那 さん

(那智勝浦町立那智中学校2年)

ふわふわあたたかいふんいきで描きました。家族で幸せを感じれるよう、すてきなえがおにしてみました。女の子を目立たせるように、あまりこい色を使わず完成させました。しょうらいがいつまでもあたたかくなるといいなと思いました。



なかに あやか 中谷 絢香 さん

(かつらぎ町立笠田中学校2年)

自分達が協力し合うから、できる未来をジグソーパズルで表した。

☆高校生部



ひがしの あまなる
東野 翌絵 さん

(和歌山県立和歌山工業高等学校1年)

男でも女でも関係なく支えあってみんなが平等で元気な和歌山になって、まわりの人たちもみんな笑顔でいられるような所になってほしいという思いで制作しました。



うつのみや こはる
宇都宮 心春 さん

(和歌山市立和歌山高等学校2年)

女が家事、男が働くそんなことを決めなくても、その家族に適した夫婦の役割分担をしてお互い協力したら幸せだと思ってもらえるように絵は全体的にやさしい雰囲気になりました。色も柔らかい色を基調にしました。



さとう りん
佐藤 凜 さん

(和歌山市立和歌山高等学校2年)

人は、自分の好きな色など選ぶ権利があるので、「男子だから、女子だからこの色」と決めつけられると、本人はとても不快になったりすると思います。その思いを今でこそ親しみやすいようゲームのキャラクター設定の選択画面にしました。